

Agilent Cary 7000 UMS/UMA 用 ソリッドオートサンプラ

The Measure of Confidence



材料の光学特性分析を自動化

Cary 7000 多角度可変自動測定分光光度計 (UMS) および多角度可変自動測定アクセサリ (UMA) 用ソリッドオートサンプラは、複数サンプルの分析や直径の大きいサンプルのプロファイリングを自動化することで、UMS および UMA システムの生産性と機能を高めます。薄膜コーティング、光学部材、ガラス、太陽電池などの高度な材料の研究および QA/QC 分析に最適です。

Cary 7000 UMS/UMA を使えば、以下のことが可能になります。

- さまざまな角度での絶対反射率および透過率の無人測定
- 分析あたりコストの削減、時間および費用の節約
- サンプルを動かさずに絶対反射率と透過率を測定できるため、より詳細な分析が可能

さらに、新しいソリッドオートサンプラを追加することにより、以下のことが実現します。

- 1 回の自動分析で最大 32 サンプルの測定に対応することで、生産性と生産能力をさらに拡大
- 短時間で多くのサンプルを分析することで、最終製品の品質と収益が向上
- 2 mm x 2 mm までの空間分解能で、大型サンプル (最大 8 インチ) のコーティング均一性のプロファイリングが可能

複数サンプル分析



利点

- 複数サンプル分析の自動化により、分析あたりのコストを削減。オペレータによるサンプルの付替えや、反射用/透過用アクセサリの交換が不要になります。
- 1 回の分析で最大 32 個 (1 インチ) のサンプルを分析できます。または、マッピング機能を使えば、直径 8 インチウエハーをそのままセットして、空間的プロファイリングやスクリーニングも可能です。
- 無人の夜間測定や週末測定ができ、時間を活用した QA/QC の自動化が可能となることで、費用に対する効果を最大化します。

マッピング分析

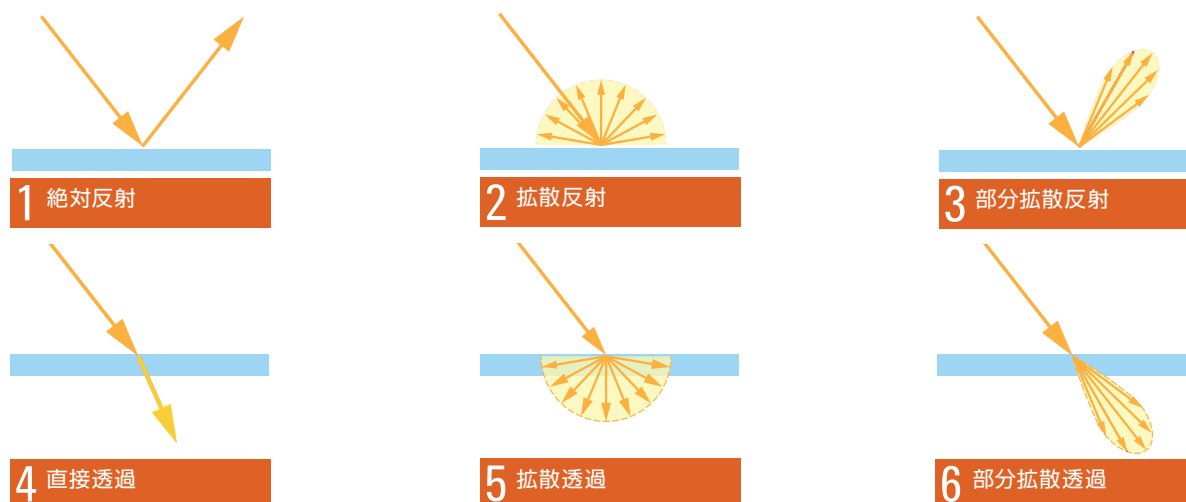


Agilent Technologies

1 システムで、32 サンプルまでの自動測定が可能

Cary 7000 UMS と UMA があれば、目的の異なる測定のために複数のアクセサリは必要はありません。取得したスペクトルデータの不整合の原因となるアクセサリの交換や複数のメソッド設定、サンプルの着脱が不要になります。

6 つの測定を 1 つのシステムで



ソリッドオートサンプル仕様

適合装置	UMA を搭載する Cary 7000 UMS および Cary 4000/5000/6000i UV-Vis-NIR 分光光度計	詳細情報： www.agilent.com/chem/jp 0120-477-111 email_japan@agilent.com
測定モード	入射角度 5～65 度 (0.02 度ステップ) での絶対正反射測定 入射角度 0～65 度 (0.02 度ステップ) での直接透過および可変角透過測定 独立したサンプル回転角度 (0～360 度) および検出器ポジショニング角度 (10～350 度) (0.02 度ステップ) を用いた拡散反射、反射、透過測定 サンプルやサンプル上のビームを動かさずに、さまざまな角度で吸収率 A ($A = 1 - R - T$) を測定することで、生産性とデータの整合性が大幅に向上	
波数範囲	単一波長指定 (リードモード) または波長範囲指定 (スキャンモード) における反射/透過測定 分光光度計および UMA により設定 (Cary 7000 UMS では 250–2500 nm など)	
サンプルホルダ	マルチサンプルホルダ: 2 つの構成を提供。 • サンプル最大 32 個 (直径 1 インチ、厚さ 10 mm まで) を最大入射角度 45° で測定 • サンプル最大 24 個 (直径 1 インチ、厚さ 10 mm まで) を最大入射角度 65° で測定 各マルチサンプルホルダの中央部にはホールがあり、長時間測定の際にユーザーが定義するタイミングでベースラインの再設定が可能。 ウェハーホルダ: 厚さ 3 mm までの直径 8 インチのサンプル 1 つを測定。最大入射角度は 65°。 汎用サンプルホルダ: 直径 8 インチまでのイレギュラーなサイズのサンプルに対応。 ホルダの周囲に一定間隔で並ぶ直径 1 インチのホールからの測定が可能。	

アジレントの製品は、研究目的でのみ使用できます。
診断目的では使用できません。
本書に記載された情報、説明、仕様は予告なく変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2014
Published in Japan, March 1, 2014
5991-4135JAJP

